

# 決算審査特別委員会 質疑&答弁

**Q** 国道451号は、大雨が降ると通行止めになってしまふ。抜本的改修の見通しは。

**A** 雨量が100ミリを超えると幌加戸浜益間が通行止めになってしまふ。国への要望の中で重点を置いているのは、比較的交通量の多い里見峠のトンネル化で抜本的改修には時間がかかる。

**Q** 町道の除排雪作業従事者の中に本町在住の方はどれだけいるのか。オペレータの育成も含め、少しでも町内の方を雇用してほしい。

**A** 昨シーズンの雇用状況は、34人中26人が本町の方。少しずつオペレータの育成も行っている。

**Q** 公営住宅の募集状況と未利用住宅の今後について

**A** 待機件数は79件あり、一人で重複希望している場合もある。待機者の実人数は

34名である。空き室は29戸あるものの、そのほとんどが学園と吉野に集中している。ここ10年程度入居希望がない老朽化した公営住宅については、解体も含めて検討する。

**Q** 生ごみを減らすためにコンポスト購入などに助成しているが、その効果は。

**A** 昨年度の生ごみ処理機購入助成台数は28件。生ごみの量を平成22年度と23年度と比較すると4.8%減っている。一概には言えないが少しずつ効果は表れている。

**Q** ごみ問題は、行政ばかりではなく住民と一体となって対策を考えるべきでは。

**A** 生ゴミ処理機は3カ年事業として助成している。住民を巻き込んだ取り組みについて今後検討したい。

**Q** 民生委員の活動内容に対し報酬が安く感じるが。

**A** 民生委員は国から委嘱されて活動する組織。本町の場合、国から支払われる報酬単価と同額を上乗せして支出している。現在のところ変更する考えはない。

**Q** レクワーカー養成の効果は。

**A** 単位老人クラブの集まりでレクリエーションを実践している。今後は、各地域で活動を増やしたり、ふるさと学園大学などでも取り組みを考えたい。



**Q** ヒブワクチンや小児用肺炎球菌ワクチンの接種率が低い。対象者個別に案内を出

しているのか。

**A** 町広報で周知しているが個別案内はしていない。ヒブの場合、全国的な死亡例もあつたため接種を控えたと思われる。

**Q** ゆめりあの体力増進室利用料金に町内外の格差は付けないのか。

**A** 町内者には、10枚綴りの回数券に2枚多く付与している。スポーツジムのような専門機器は少なく、1回200円の低料金設定をしている。これ以上の料金格差は考えていない。

**Q** 老朽化した旧西部肥育センターはどうするのか。

**A** 今後、利用目的がないことから、平成25年度に予算化し解体したいと考えている。

**Q** 役場公用車のエコカー台数と導入計画は。

**A** 公用車台数は49台あり、そのうち3台がエコカーである。49台の中にはスクールバ

スや除雪車両も含まれているため、全てとはならないが、可能な限りエコカーに更新したい。

**Q** 農家戸数や農業者数は20年前と比較して半減になっている。対策は考えていないのか。

**A** 農業振興公社を設立したので、公社事業の中で担い手や農地問題について取り組んでいきたい。

**Q** 昨年のシカの駆除頭数は。

**A** 猟友会として20頭。一昨年からは実施している「くくり罠」での捕獲駆除頭数は6頭となっている。

**Q** 企業誘致のための情報をデータベース化したのが、どのように活用するのか。

**A** 不況下の中で効果は表れていない。今後は本町の縁故者を通じ、プロジェクトチームで活動を練りなおし企業誘致に結び付けたい。